

## (2) 産業基盤整備勘定

## 貸借対照表

(平成28年3月31日)

## 資産の部

## I 流動資産

現金及び預金	9,430,866,840	
有価証券	13,199,881,684	
貯蔵品	14,221	
前払費用	22,839	
未収収益	38,305,174	
未収入金	136,225	
前払金	2,305,388	
流動資産合計		22,671,532,371

## II 固定資産

## 1 有形固定資産

工具器具備品	3,944,920	
減価償却累計額	△ 3,856,969	87,951
有形固定資産合計		87,951

## 2 投資その他の資産

投資有価証券	21,479,456,424	
関係会社株式	209,192,301	
求償権	2,014,901,205	
長期前払費用	19,112	
貸倒引当金(△)	△ 2,014,901,205	
投資その他の資産合計		21,688,667,837

		21,688,755,788
--	--	----------------

## 固定資産合計

		21,688,755,788
--	--	----------------

		21,688,755,788
--	--	----------------

		21,688,755,788
--	--	----------------

		21,688,755,788
--	--	----------------

		21,688,755,788
--	--	----------------

		21,688,755,788
--	--	----------------

		21,688,755,788
--	--	----------------

		21,688,755,788
--	--	----------------

		21,688,755,788
--	--	----------------

		21,688,755,788
--	--	----------------

		21,688,755,788
--	--	----------------

		21,688,755,788
--	--	----------------

		21,688,755,788
--	--	----------------

		21,688,755,788
--	--	----------------

		21,688,755,788
--	--	----------------

		21,688,755,788
--	--	----------------

		21,688,755,788
--	--	----------------

		21,688,755,788
--	--	----------------

		21,688,755,788
--	--	----------------

		21,688,755,788
--	--	----------------

		21,688,755,788
--	--	----------------

		21,688,755,788
--	--	----------------

		21,688,755,788
--	--	----------------

		21,688,755,788
--	--	----------------

		21,688,755,788
--	--	----------------

		21,688,755,788
--	--	----------------

		21,688,755,788
--	--	----------------

		21,688,755,788
--	--	----------------

		21,688,755,788
--	--	----------------

		21,688,755,788
--	--	----------------

		21,688,755,788
--	--	----------------

		21,688,755,788
--	--	----------------

		21,688,755,788
--	--	----------------

		21,688,755,788
--	--	----------------

		21,688,755,788
--	--	----------------

		21,688,755,788
--	--	----------------

		21,688,755,788
--	--	----------------

		21,688,755,788
--	--	----------------

		21,688,755,788
--	--	----------------

		21,688,755,788
--	--	----------------

		21,688,755,788
--	--	----------------

		21,688,755,788
--	--	----------------

		21,688,755,788
--	--	----------------

		21,688,755,788
--	--	----------------

		21,688,755,788
--	--	----------------

		21,688,755,788
--	--	----------------

		21,688,755,788
--	--	----------------

		21,688,755,788
--	--	----------------

		21,688,755,788
--	--	----------------

		21,688,755,788
--	--	----------------

		21,688,755,788
--	--	----------------

		21,688,755,788
--	--	----------------

		21,688,755,788
--	--	----------------

		21,688,755,788
--	--	----------------

		21,688,755,788
--	--	----------------

		21,688,755,788
--	--	----------------

		21,688,755,788
--	--	----------------

		21,688,755,788
--	--	----------------

		21,688,755,788
--	--	----------------

		21,688,755,788
--	--	----------------

		21,688,755,788
--	--	----------------

		21,688,755,788
--	--	----------------

		21,688,755,788
--	--	----------------

		21,688,755,788
--	--	----------------

		21,688,755,788
--	--	----------------

		21,688,755,788
--	--	----------------

		21,688,755,788
--	--	----------------

		21,688,755,788
--	--	----------------

		21,688,755,788
--	--	----------------

		21,688,755,788
--	--	----------------

		21,688,755,788
--	--	----------------

		21,688,755,788
--	--	----------------

		21,688,755,788
--	--	----------------

		21,688,755,788
--	--	----------------

		21,688,755,788
--	--	----------------

		21,688,755,788
--	--	----------------

		21,688,755,788
--	--	----------------

		21,688,755,788
--	--	----------------

		21,688,755,788
--	--	----------------

		21,688,755,788
--	--	----------------

		21,688,755,788
--	--	----------------

		21,688,755,788
--	--	----------------

		21,688,755,788
--	--	----------------

		21,688,755,788
--	--	----------------

		21,688,755,788
--	--	----------------

		21,688,755,788
--	--	----------------

		21,688,755,788
--	--	----------------

		21,688,755,788
--	--	----------------

		21,688,755,788
--	--	----------------

		21,688,755,788
--	--	----------------

		21,688,755,788
--	--	----------------

		21,688,755,788
--	--	----------------

		21,688,755,788
--	--	----------------

--

**損益計算書**  
(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

経常費用

創業・新事業支援業務費

役員給	447,404	
給与賞与諸手当	27,828,144	
法定福利費	3,637,326	
賞与引当金繰入額	2,855,310	
退職給付費用	12,102,694	
その他創業・新事業支援業務費	5,519,502	52,390,380

経営基盤強化業務費

関係会社株式評価損	41,807,699	
役員給	371,268	
給与賞与諸手当	23,977,011	
法定福利費	3,114,045	
賞与引当金繰入額	2,556,863	
退職給付費用	10,877,261	
その他経営基盤強化業務費	10,712,864	93,417,011

経営環境対応業務費

役員給	436,134	
給与賞与諸手当	26,519,819	
法定福利費	3,449,865	
賞与引当金繰入額	2,718,362	
退職給付費用	12,102,769	
その他経営環境対応業務費	5,611,837	50,838,786

一般管理費

役員給	1,717,236	
給与賞与諸手当	19,698,112	
法定福利費	4,199,779	
賞与引当金繰入額	2,172,255	
退職給付費用	7,618,877	
業務委託費・報酬費	9,226,311	
賃借料	16,734,548	
雑費	6,193,416	
その他一般管理費	11,380,379	78,940,913

雑損

8,450

経常費用合計

275,595,540

経常収益

債務保証料収入		12,227,727
資産運用収入		672,000
財務収益		
受取利息	931,716	
有価証券利息	294,807,384	295,739,100

雑益

1,596,531

経常収益合計

310,235,358

経常利益

34,639,818

臨時利益

貸倒引当金戻入益		9,955,693
保証債務損失引当金戻入益		459,361,842
厚生年金基金代行返上益		75,299,606

臨時利益合計

544,617,141

税引前当期純利益

579,256,959

法人税、住民税及び事業税

432,337

当期純利益

578,824,622

当期総利益

578,824,622

## キャッシュ・フロー計算書

(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

I 業務活動によるキャッシュ・フロー	
商品又はサービスの購入による支出	△ 54,489,057
人件費支出	△ 92,400,144
代位弁済による支出	△ 92,295,386
債務保証料収入	9,685,331
求償権回収による収入	9,955,693
出資事業収入	672,000
消費税等還付額	3,464
その他の業務収入	1,590,243
小計	△ 217,277,856
利息及び配当金の受取額	303,484,110
法人税等の支払額	△ 313,080
業務活動によるキャッシュ・フロー	85,893,174
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	
有価証券の取得による支出	△ 32,450,000,000
有価証券の償還による収入	40,640,000,000
定期預金の預入による支出	△ 11,200,000,000
定期預金の払戻による収入	3,600,000,000
投資活動によるキャッシュ・フロー	590,000,000
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	
不要財産に係る国庫納付等による支出	△ 534,131,115
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 534,131,115
IV 資金増加額	141,762,059
V 資金期首残高	189,104,781
VI 資金期末残高	330,866,840

## 利益の処分に関する書類

(平成28年7月21日)

I 当期未処分利益		388,993,814
当期総利益	578,824,622	
廃止法附則第三十七条の規定に係る業務の欠損金	<u>△ 189,830,808</u>	
II 利益処分量		
積立金	<u>388,993,814</u>	<u>388,993,814</u>

(注) 廃止法・・・「中小企業総合事業団法及び機械類信用保険法の廃止等に関する法律」

## 行政サービス実施コスト計算書

(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

## I 業務費用

## (1) 損益計算書上の費用

創業・新事業支援業務費	52,390,380	
経営基盤強化業務費	93,417,011	
経営環境対応業務費	50,838,786	
一般管理費	78,940,913	
雑損	8,450	
法人税、住民税及び事業税	432,337	276,027,877

## (2) (控除) 自己収入等

債務保証料収入	△ 12,227,727	
資産運用収入	△ 672,000	
財務収益	△ 295,739,100	
雑益	△ 1,596,531	
臨時利益	△ 544,617,141	△ 854,852,499
業務費用合計		△ 578,824,622

## II 損益外減価償却相当額

2,539

## III 引当外退職給付増加見積額

278,661

## IV 機会費用

政府出資又は地方公共団体出資等の機会費用

-

-

## V (控除) 法人税等及び国庫納付額

△ 432,337

## VI 行政サービス実施コスト

	△ 578,975,759	
--	---------------	--

## I 重要な会計方針

当事業年度より、改訂後の「独立行政法人会計基準」及び「独立行政法人会計基準注解」（平成27年1月27日改訂）並びに「独立行政法人会計基準及び独立行政法人会計基準注解に関するQ&A」（平成28年2月改訂）（以下、「独立行政法人会計基準等」という。）を適用して、財務諸表等を作成しております。

ただし、「独立行政法人会計基準」第43（注解39）の規定については、「独立行政法人通則法の一部を改正する法律」の附則第8条により経過措置を適用していることから、経過措置終了まで、現行セグメント区分に基づくセグメント情報の開示を行っております。

また、「独立行政法人会計基準」第81（注解60、注解61）の規定については、経過措置を適用していることから、改訂前の第81（注解60）を適用しております。

### 1. 減価償却の会計処理方法

#### （1）有形固定資産

定額法を採用しております。

なお、工具器具備品の耐用年数は2年～10年であります。

#### （2）特定の償却資産

有形固定資産のうち、特定の償却資産（独立行政法人会計基準（以下「会計基準」という。）第87）の減価償却相当額については、損益外減価償却累計額として資本剰余金から控除して表示しております。

### 2. 引当金の計上基準

#### （1）貸倒引当金

求償権については、個別に回収可能性を勘案し、回収不能見込額を計上しております。

#### （2）賞与引当金

役員及び職員等に対する賞与の支払にあてるため、将来の支払見込額のうち当事業年度に発生した額を計上しております。

#### （3）保証債務損失引当金

債務保証に係る損失に備えるため、被保証先の財政状態等を勘案し、損失負担見込額を計上しております。

なお、当該引当金の計上に当たっては、一般債権に相当する被保証先については保証履行等実績率に基づき、また貸倒懸念債権及び破産更生債権等に相当する被保証先については個別に保証履行可能性を勘案して計上しております。

### 3. 退職給付に係る引当金及び見積額の計上基準並びに退職給付費用の処理方法

役員及び職員等への退職給付に備えるため、当事業年度末における退職給付債務及び年金資産の見込額に基づいて計上しております。

退職給付債務の算定にあたり、退職給付見込額を当事業年度末までの期間に帰属させる方法については期間定額基準によっております。

数理計算上の差異及び過去勤務費用は、発生事業年度に全額費用処理しております。

なお、行政サービス実施コスト計算書における引当外退職給付増加見積額は、会計基準第 38 に基づき計算された退職給付引当金の当期増加額を計上しております。

### 4. 有価証券の評価基準及び評価方法

#### (1) 満期保有目的債券

償却原価法（定額法）によっております。

#### (2) 関係会社株式

移動平均法に基づく原価法（持分相当額が下落した場合には持分相当額）によっております。

#### (3) その他有価証券

時価のない株式については、移動平均法に基づく原価法によっております。

### 5. たな卸資産の評価基準及び評価方法

#### 貯蔵品

先入先出法による低価法によっております。

### 6. 行政サービス実施コスト計算書における機会費用の計上方法

平成 28 年 4 月 1 日付け事務連絡「マイナス金利付き量的・質的金融緩和」の導入を受けた平成 27 事業年度財務諸表における行政サービス実施コスト計算書の機会費用算定の取扱いについて（留意事項）」（総務省行政管理局、財務省主計局法規課公会計室）に基づき、0%で計算しております。

### 7. 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっております。

## 8. 会計方針の変更

改訂後の独立行政法人会計基準等を当事業年度より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、割引率の決定方法を職員の平均残存勤務期間に近似した年数を基礎に決定する方法から、退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更いたしました。

それに伴い、行政サービス実施コスト計算書における引当外退職給付増加見積額の算定にあたっての割引率の決定方法についても、同様に変更しております。

この結果、前事業年度と同一の方法によった場合と比べて、損益及び行政サービス実施コストに影響はありません。

## II 注記事項

### [貸借対照表関係]

#### 保証債務

平成 28 年 3 月末現在における保証債務残高は、1,944,751,637 円であります。

### [損益計算書関係]

1. その他創業・新事業支援業務費の内訳は、次のとおりであります。

賃借料	2,096,068 円
嘱託・臨時職員給与	2,322,000 円
旅費交通費	117,495 円
業務委託費・報酬費	413,684 円
通信運搬費	34,287 円
水道光熱費	51,495 円
保守修繕費	257,985 円
消耗品・備品費	14,376 円
雑費	210,600 円
印刷製本費	1,512 円
合計	5,519,502 円

2. その他経営基盤強化業務費の内訳は、次のとおりであります。

嘱託・臨時職員給与	4,644,000 円
賃借料	4,163,797 円
旅費交通費	149,058 円
業務委託費・報酬費	895,317 円
通信運搬費	120,145 円
水道光熱費	102,081 円
保守修繕費	515,970 円
消耗品・備品費	119,472 円
印刷製本費	3,024 円
合計	10,712,864 円

3. その他経営環境対応業務費の内訳は、次のとおりであります。

嘱託・臨時職員給与	2,322,000円
賃借料	2,096,068円
旅費交通費	161,515円
業務委託費・報酬費	457,424円
通信運搬費	34,287円
水道光熱費	51,495円
保守修繕費	257,985円
租税公課	1,080円
消耗品・備品費	14,376円
雑費	210,600円
印刷製本費	5,007円
合計	5,611,837円

4. その他一般管理費の内訳は、次のとおりであります。

嘱託・臨時職員給与	3,055,190円
福利厚生費	155,224円
旅費交通費	1,700,375円
通信運搬費	1,142,723円
保険料	25,237円
水道光熱費	602,489円
保守修繕費	2,200,332円
租税公課	278,365円
消耗品・備品費	1,610,451円
研修活動費	277,256円
諸謝金	189,903円
印刷製本費	142,834円
合計	11,380,379円

[キャッシュ・フロー計算書関係]

資金の期末残高の貸借対照表科目別の内訳

現金及び預金	9,430,866,840円
定期預金	△9,100,000,000円
資金期末残高	330,866,840円

[行政サービス実施コスト計算書関係]

引当外退職給付増加見積額 278,661 円については、国からの出向職員に係るものであります。

[退職給付関係]

1. 採用している退職給付制度の概要

当機構は、役員及び職員等への退職給付に充てるため、積立型、非積立型の確定給付制度及び確定拠出制度を採用しております。

退職一時金制度（非積立型の確定給付制度）では、退職給付として、内部規程に基づき支給しております。

確定給付企業年金（積立型の確定給付制度）及び確定拠出年金では、経済産業関係法人企業年金基金に加入しております。同基金は、平成 27 年 4 月 1 日に通産関係独立行政法人厚生年金基金から、確定給付企業年金と確定拠出年金の複合型の新制度に移行したものであります。

なお、同厚生年金基金の代行部分については、厚生労働大臣から、平成 26 年 3 月 1 日付けで将来支給義務免除の認可を受け、平成 27 年 4 月 1 日に過去分支給義務免除の認可を受けております。

2. 確定給付制度

(1) 退職給付債務の期首残高と期末残高の調整表

期首における退職給付債務	245,186,447 円
勤務費用	8,134,757 円
利息費用	447,308 円
数理計算上の差異の当期発生額	31,132,107 円
退職給付の支払額	△8,337,325 円
制度加入者からの拠出額	352,886 円
厚生年金基金の代行返上による減少額	△75,299,606 円
その他	14,393,870 円
期末における退職給付債務	<u>216,010,444 円</u>

(2) 年金資産の期首残高と期末残高の調整表

期首における年金資産	83,709,613 円
期待運用収益	5,426,034 円
数理計算上の差異の当期発生額	△8,106,403 円
事業主からの拠出額	3,154,599 円
退職給付の支払額	△3,049,575 円
制度加入者からの拠出額	352,886 円
その他	14,393,870 円
期末における年金資産	<u>95,881,024 円</u>

(3) 退職給付債務及び年金資産と貸借対照表に計上された退職給付引当金及び前払年金費用の調整表

積立型制度の退職給付債務	111,875,723 円
年金資産	△95,881,024 円
積立型制度の未積立退職給付債務	15,994,699 円
非積立型制度の未積立退職給付債務	104,134,721 円
小計	120,129,420 円
貸借対照表に計上された負債と資産の純額	120,129,420 円
退職給付引当金	120,129,420 円
貸借対照表に計上された負債と資産の純額	120,129,420 円

(4) 退職給付に関連する損益

勤務費用 (注1)	8,134,757 円
利息費用	447,308 円
期待運用収益	△5,426,034 円
数理計算上の差異の当期の費用処理額	39,238,510 円
合 計	42,394,541 円
厚生年金基金代行返上益 (注2)	△75,299,606 円

(注1) 勤務費用から、厚生年金基金及び企業年金に対する役職員拠出額を控除しております。

(注2) 臨時利益に計上しております。

(5) 年金資産の主な内訳

年金資産合計に対する主な分類ごとの比率は、次のとおりであります。

債券	21%
株式	17%
保険資産	11%
その他	5%
代行返上に伴う責任準備金前納額	46%
合 計	100%

(6) 長期期待運用収益率の設定方法に関する記載

年金資産の長期期待運用収益率を決定するため、現在及び予想される年金資産の配分と、年金資産を構成する多様な資産からの現在及び将来期待される長期の収益率を考慮しております。

(7) 数理計算上の計算基礎に関する事項

期末における主要な数理計算上の計算基礎（加重平均で表しております。）

割引率

退職一時金制度	0.00%
確定給付企業年金制度	0.21%
長期期待運用収益率	3.50%

3. 確定拠出制度

当機構の確定拠出制度への要拠出額は、307,060円でありました。

[金融商品関係]

1. 金融商品の状況に関する事項

(1) 金融商品に対する取組方針

当機構は、資金運用については「独立行政法人通則法」等に基づき運用の安全性・確実性を確保し、また決済資金等の資金需要に備えられるよう流動性を確保するとともに、収益稼得のための効率性・収益性を確保することとしております。

(2) 金融商品の内容及びそのリスク並びにリスク管理体制

保有する金融資産は、主として満期保有目的で所有している債券及び譲渡性預金であり、発行体の信用リスク及び市場価格の変動リスクに晒されております。これらについては「独立行政法人中小企業基盤整備機構余裕金運用要領」に基づき、国債、地方債及び政府保証債並びにそれ以外で信用ある格付機関として指定する5機関のいずれかによりA格以上の格付を得ている銘柄の債券の取得をしており、取得後に、付与されている格付のうちA格未満が2分の1以上となった債券等については、発行体の信用（債務不履行）リスクに十分留意したうえで、必要に応じて適切な手段（売却を含む。）を講ずることとしております。

なお、付与されている格付がいずれもBBB格未満若しくはBaa格未満となった債券又は取得原価と時価を比べて時価が著しく下落した債券については、原則として売却することとしております。

また、国内事業者に対する債務保証の履行金（代位弁済金）である求償権は、被保証先の契約不履行によってもたらされる信用リスクに晒されております。当該リスクに関しては、「産業基盤整備業務に係る債務保証事務取扱要領」等に従い、定期的に経営状況や保証・担保状況を把握する体制を整備、運用して適切に債権保全を図っております。

## 2. 金融商品の時価等に関する事項

期末日における貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額については、次のとおりであります。

なお、時価を把握することが極めて困難と認められるものは、次表には含めておりません（注2）参照）。

（単位：円）

	貸借対照表 計上額	時価	差額
(1) 現金及び預金	9,430,866,840	9,430,866,840	—
(2) 有価証券及び投資有価証券 満期保有目的の債券	31,799,881,684	31,958,910,000	159,028,316

（注1） 金融商品の時価の算定方法並びに有価証券等に関する事項

### （1） 現金及び預金

これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。

### （2） 有価証券及び投資有価証券

#### 満期保有目的の債券

満期保有目的の債券の時価については、日本証券業協会が公表している売買参考統計値又は取引金融機関から提示された価格によっております。

満期保有目的の債券のうち譲渡性預金は短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。

（注2） その他有価証券（非上場株式、貸借対照表計上額 2,879,456,424 円）は、市場価格がなく、かつ将来キャッシュ・フローを見積ることができず、時価を把握することが極めて困難と認められるため、「(2) 有価証券及び投資有価証券」には含めておりません。

[不要財産に係る国庫納付等関係]

①	資産種類	現金及び預金	
②	資産名称	現金及び預金	
③	帳簿価額	(1) 取得価額	—
		(2) 減価償却	—
		(3) 帳簿価額	534,131,115 円

④	不要財産となった理由	平成 22 年 12 月 7 日閣議決定の「独立行政法人の事務・事業の見直しの基本方針」を踏まえ、経過業務に係る債務保証残高の減少に伴い不要額が生じたため。	
⑤	国庫納付等の方法	現金及び預金による国庫納付	
⑥	譲渡収入の額	該当ありません	
⑦	控除費用	該当ありません	
⑧	国庫納付等の額 納付等年月日	(1)国庫納付額	534,131,115 円
		納付年月日	平成 27 年 10 月 16 日
		(2)地方公共団体への払戻額	—
		納付年月日	—
		(3)その他民間等への払戻額	—
		納付年月日	—
⑨	減資額	534,131,115 円	
⑩	備考	政府出資金（第二種信用基金）	

### Ⅲ 重要な債務負担行為

該当ありません。

### Ⅳ 重要な後発事象

#### 平成 28 年熊本地震

平成 28 年 4 月 16 日に発生した平成 28 年熊本地震による人的被害はありません。また、建物及び構築物などの有形固定資産への重大な被害はありません。

この地震により被害を受けた当機構の貸付先や出資先等の状況が、今後当機構の財政状態及び経営成績に影響を及ぼす可能性はありますが、現時点ではその影響額についての算定は困難であります。

附属明細書

1. 固定資産の取得、処分、減価償却費(「第87 特定の償却資産の減価に係る会計処理」及び「第91 資産除去債務に係る特定の除去費用等の会計処理」による損益外減価償却相当額も含む。)及び減損損失累計額の明細

(単位：円)

資産の種類	期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高	減価償却累計額		減損損失累計額		差引当期末残高	摘要	
					当期償却額	当期減損額					
有形固定資産 (償却費損益内)	工具器具備品	2,634,450	-	-	2,634,450	2,634,448	-	-	-	2	
	計	2,634,450	-	-	2,634,450	2,634,448	-	-	-	2	
有形固定資産 (償却費損益外)	工具器具備品	1,230,470	-	-	1,230,470	1,222,521	2,539	-	-	7,949	
	計	1,230,470	-	-	1,230,470	1,222,521	2,539	-	-	7,949	
非償却資産	工具器具備品	80,000	-	-	80,000	-	-	-	-	80,000	
	計	80,000	-	-	80,000	-	-	-	-	80,000	
有形固定資産 合計	工具器具備品	3,944,920	-	-	3,944,920	3,856,969	2,539	-	-	87,951	
	計	3,944,920	-	-	3,944,920	3,856,969	2,539	-	-	87,951	
無形固定資産 (償却費損益内)	ソフトウェア	13,991,250	-	-	13,991,250	13,991,250	-	-	-	-	
	計	13,991,250	-	-	13,991,250	13,991,250	-	-	-	-	
投資その他の 資産	投資有価証券	21,679,010.380	5,000,327.728	5,199,881.684	21,479,456.424					21,479,456.424	(注)
	関係会社株式	251,000.000	-	41,807.699	209,192.301					209,192.301	
	求償権	2,231,594.652	92,295.386	308,988.833	2,014,901.205					2,014,901.205	
	長期前払費用	9	19,112	9	19,112					19,112	
	貸倒引当金(△)	△2,231,594.652	△92,281.192	△308,974.639	△2,014,901.205					△2,014,901.205	
	計	21,930,010.389	5,000,361.034	5,241,703.586	21,688,667.837					21,688,667.837	

(注) 当期増加額は、満期保有目的債券の取得等(5,000,327,728円)によるものであり、当期減少額は、一年基準により流動資産「有価証券」への振替(5,199,881,684円)によるものであります。

2. たな卸資産の明細

(1) たな卸資産の明細

(単位：円)

種類	期首残高	当期増加額		当期減少額		期末残高	摘要
		当期購入・ 製造・振替	その他	払出・振替	その他		
貯蔵品	14,297	14,221	-	14,297	-	14,221	
計	14,297	14,221	-	14,297	-	14,221	

(2) 販売用不動産の明細

該当ありません。

(3) 特定事業者復興支援施設の明細

該当ありません。

3. 有価証券の明細

(1) 流動資産として計上された有価証券

(単位：円)

区分	種類及び銘柄	取得価額	券面総額	貸借対照表計上額	当期費用に含まれた評価差額	摘要
満期保有目的債券	第10回 日本高速道路保有・債務返済機構債券	249,825,000	250,000,000	249,996,104	-	
	第10回 日本高速道路保有・債務返済機構債券	949,335,000	950,000,000	949,985,197	-	
	第10回 農林漁業金融公庫債券	1,999,400,000	2,000,000,000	1,999,986,477	-	
	第15回 日本高速道路保有・債務返済機構債券	1,998,200,000	2,000,000,000	1,999,913,906	-	
	譲渡性預金(みずほ銀行)	4,800,000,000	4,800,000,000	4,800,000,000	-	
	譲渡性預金(りそな銀行)	2,000,000,000	2,000,000,000	2,000,000,000	-	
	譲渡性預金(あおぞら銀行)	600,000,000	600,000,000	600,000,000	-	
	譲渡性預金(三菱UFJ信託銀行)	600,000,000	600,000,000	600,000,000	-	
	計	13,196,760,000	13,200,000,000	13,199,881,684	-	
	貸借対照表計上額合計			13,199,881,684		

(2) 投資その他の資産として計上された有価証券

(単位：円)

区分	種類及び銘柄	取得価額	券面総額	貸借対照表計上額	当期費用に含まれた評価差額	摘要	
満期保有目的債券	い 第785号 利付商工債	1,000,000,000	1,000,000,000	1,000,000,000	-		
	中日本高速道路株式会社第54回社債	1,700,000,000	1,700,000,000	1,700,000,000	-		
	東日本高速道路株式会社第23回社債	500,000,000	500,000,000	500,000,000	-		
	東日本高速道路株式会社第27回社債	400,000,000	400,000,000	400,000,000	-		
	東日本高速道路株式会社第34回社債	200,000,000	200,000,000	200,000,000	-		
	首都高速道路株式会社第12回社債	300,000,000	300,000,000	300,000,000	-		
	首都高速道路株式会社第14回社債	600,000,000	600,000,000	600,000,000	-		
	首都高速道路株式会社第14回社債	100,000,000	100,000,000	100,000,000	-		
	新関西国際空港株式会社第4回社債	1,000,000,000	1,000,000,000	1,000,000,000	-		
	新関西国際空港株式会社第8回社債	1,000,000,000	1,000,000,000	1,000,000,000	-		
	NTTファイナンス株式会社第43回無担保社債	1,000,000,000	1,000,000,000	1,000,000,000	-		
	第80回 都市再生債券	1,500,000,000	1,500,000,000	1,500,000,000	-		
	九州電力株式会社第432回社債	400,000,000	400,000,000	400,000,000	-		
	九州電力株式会社第436回社債	500,000,000	500,000,000	500,000,000	-		
	アサヒグループホールディングス株式会社第6回無担保社債	700,000,000	700,000,000	700,000,000	-		
	株式会社LIXILグループ第5回無担保社債	2,000,000,000	2,000,000,000	2,000,000,000	-		
	株式会社三菱東京UFJ銀行第159回社債	300,000,000	300,000,000	300,000,000	-		
	株式会社ホンダファイナンス第26回無担保社債	1,000,000,000	1,000,000,000	1,000,000,000	-		
	三井住友ファイナンス&リース株式会社第10回無担保社債	500,000,000	500,000,000	500,000,000	-		
	三井住友ファイナンス&リース株式会社第14回無担保社債	1,000,000,000	1,000,000,000	1,000,000,000	-		
三菱UFJリース株式会社第31回無担保社債	1,000,000,000	1,000,000,000	1,000,000,000	-			
三菱UFJリース株式会社第35回無担保社債	1,500,000,000	1,500,000,000	1,500,000,000	-			
ヤマトホールディングス株式会社第1回社債	400,000,000	400,000,000	400,000,000	-			
	計	18,600,000,000	18,600,000,000	18,600,000,000	-		
関係会社株式	銘柄	取得価額	純資産に持分割合を乗じた価額	貸借対照表計上額	当期費用に含まれた評価差額	摘要	
	<輸入促進基盤整備出資>						
	(株)八戸港貿易センター	251,000,000	209,192,301	209,192,301	△41,807,699	※	
	計	251,000,000	209,192,301	209,192,301	△41,807,699		
その他有価証券	種類及び銘柄	取得価額	時価	貸借対照表計上額	当期費用に含まれた評価差額	その他有価証券評価差額	摘要
	<輸入促進基盤整備出資>						
	(株)北九州輸入促進センター	992,000,000	-	992,000,000	-	-	
	愛媛エフ・イー・ゼット(株)	414,000,000	-	414,000,000	-	-	
	(株)大分国際貿易センター	123,000,000	-	123,000,000	-	-	
	(株)横浜インポートマート	865,000,000	-	865,000,000	-	-	
	(株)さかいみなと貿易センター	133,000,000	-	133,000,000	-	-	
	(株)舞鶴21	187,000,000	-	187,000,000	-	-	
	広島空港ビルディング(株)	42,000,000	-	42,000,000	-	-	
	(株)仙台港貿易促進センター	123,456,424	-	123,456,424	-	-	
	計	2,879,456,424	-	2,879,456,424	-	-	
	貸借対照表計上額合計			21,688,648,725			

※ (株)八戸港貿易センターは、平成28年3月25日に会社解散の臨時株主総会を開催し、会社清算手続中であります。

(注) 関係会社株式及びその他有価証券に記載している区分の内容は以下のとおりであります。

区分	根拠法令等
輸入促進基盤整備出資	旧輸入の促進及び対内投資事業の円滑化に関する臨時措置法第8条第2号に基づく出資

4. 貸付金等の明細

該当ありません。

5. 長期借入金の明細

該当ありません。

6. 中小企業基盤整備債券の明細

該当ありません。

7. 引当金の明細

(単位：円)

区 分	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高	摘要
			目的使用	その他		
賞与引当金	10,220,648	10,493,372	10,220,648	-	10,493,372	
保証債務損失引当金	679,548,577	-	92,295,386	459,347,648	127,905,543	(注)
計	689,769,225	10,493,372	102,516,034	459,347,648	138,398,915	

(注) 「当期減少額－その他」は、見積額の減少による取崩であります。

保証債務損失引当金の目的使用当期減少額は、損益計算書上、貸倒引当金繰入額と相殺表示しております。

8. 貸付金等に対する貸倒引当金の明細

(単位：円)

区 分	貸付金等の残高			貸倒引当金の残高			摘要
	期首残高	当期増減額	期末残高	期首残高	当期増減額	期末残高	
求償権	2,231,594,652	△216,693,447	2,014,901,205	2,231,594,652	△216,693,447	2,014,901,205	
破産更生債権等	2,231,594,652	△216,693,447	2,014,901,205	2,231,594,652	△216,693,447	2,014,901,205	
計	2,231,594,652	△216,693,447	2,014,901,205	2,231,594,652	△216,693,447	2,014,901,205	

(注) 貸倒見積高の算定方法は、「重要な会計方針」の「2. 引当金の計上基準(1) 貸倒引当金」に記載しております。

9. 退職給付引当金の明細

(単位：円)

区 分	期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高	摘要
退職給付債務合計額	245,186,447	99,901,461	129,077,464	216,010,444	
退職一時金に係る債務	81,317,539	28,104,931	5,287,750	104,134,720	
厚生年金基金等に係る債務	163,868,908	71,796,530	123,789,714	111,875,724	
未認識過去勤務費用及び未認識数理計算上の差異	-	-	-	-	
年金資産	83,709,613	13,375,977	1,204,566	95,881,024	
退職給付引当金	161,476,834	86,525,484	127,872,898	120,129,420	

10. 資産除去債務の明細

該当ありません。

11. 法令に基づく引当金等の明細

該当ありません。

## 12. 保証債務の明細

(単位：円)

区分	期首残高		当期増加		当期減少		期末残高		保証料収益
	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	金額
第二種信用基金	46	3,659,076,377	-	-	18	1,714,324,740	28	1,944,751,637	12,227,727
計	46	3,659,076,377	-	-	18	1,714,324,740	28	1,944,751,637	12,227,727

## 13. 資本金及び資本剰余金の明細

(単位：円)

区分	期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高	摘要
資本金	政府出資金	42,540,297,000	-	534,131,115	42,006,165,885 (注)
	計	42,540,297,000	-	534,131,115	42,006,165,885
資本剰余金	資本剰余金				
	損益外固定資産売却差額	△2,212,670	-	-	△2,212,670
	計	△2,212,670	-	-	△2,212,670
	損益外減価償却累計額	△1,219,982	△2,539	-	△1,222,521 特定資産の減価償却による
	民間出えん金	900,540,000	-	-	900,540,000
差引計	897,107,348	△2,539	-	897,104,809	

(注) 当期減少額は、「独立行政法人の事務・事業の見直しの基本方針」(平成22年12月7日閣議決定)による国庫納付によるものであります。

## 14. 積立金の明細

(単位：円)

区分	期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高	摘要
通則法第44条第1項の積立金	-	-	-	-	
前中期目標期間繰越積立金	739,303,688	-	-	739,303,688	
計	739,303,688	-	-	739,303,688	

## 15. 目的積立金の取崩しの明細

該当ありません。

## 16. 運営費交付金債務及び当期振替額等の明細

該当ありません。

## 17. 運営費交付金以外の国等からの財源措置の明細

該当ありません。

## 18. 役員及び職員の給与の明細

法人単位の附属明細書に記載しております。

## 19. セグメント情報

該当ありません。

## 20. その他の資産、負債、費用及び収益の明細

該当ありません。

21. 信用基金の運用状況の明細

(1) 第一種信用基金

概要

第一種信用基金は、機構法第15条第1項第8号に掲げる業務のうち債務の保証に関するもの並びにこれらに付帯する業務に関し設けられております。当基金は、中小企業総合事業団法及び機械類信用保険法の廃止等に関する法律(以下「廃止法」という。)附則第4条第14項の規定による政府以外の者からの拠出金により構成され、期末残高は205,023,905円となっております。

財政状態 (単位：円)

資産	金額	負債	金額
現金及び預金	205,023,905		
求償権	710,781,765		
貸倒引当金(△)	△710,781,765		

損益の状況 (単位：円)

費用	金額	収益	金額
経常費用	3,348	経常収益	110,120
一般管理費	3,348	財務収益	110,120
		臨時利益	7,343,801
		貸倒引当金戻入益	7,343,801

(2) 第二種信用基金

概要

第二種信用基金は、機構法第15条第1項第7号、9号及び14号に掲げる業務のうち債務の保証に関するもの並びにこれらに付帯する業務に関し設けられております。当基金は、廃止法附則第4条第13項の規定による政府出資金及び同条第14項の規定による政府以外の者からの拠出金により構成され、期末残高は40,721,703,099円となっております。

財政状態 (単位：円)

資産	金額	負債	金額
現金及び預金	9,209,572,548	未払金	62,839,829
有価証券	13,199,881,684	未払法人税等	432,337
貯蔵品	14,221	前受金	4,823,891
前払費用	22,839	預り金	2,017,651
未収収益	38,305,174	賞与引当金	10,493,372
未収入金	136,225	退職給付引当金	120,129,420
前払金	2,305,388	保証債務損失引当金	127,905,543
有形固定資産	87,951		
投資有価証券	18,600,000,000		
求償権	1,304,119,440		
長期前払費用	19,112		
貸倒引当金(△)	△1,304,119,440		

損益の状況 (単位：円)

費用	金額	収益	金額
経常費用	233,492,901	経常収益	309,444,782
創業・新事業支援業務費	52,390,380	債務保証料収入	12,227,727
経営基盤強化業務費	51,321,068	財務収益	295,620,524
経営環境対応業務費	50,838,786	雑益	1,596,531
一般管理費	78,934,217	臨時利益	537,273,340
雑損	8,450	貸倒引当金戻入益	2,611,892
法人税等	432,337	保証債務損失引当金戻入益	459,361,842
		厚生年金基金代行返上益	75,299,606